

# 寺報

No.615

平成30年11月

蓮華寺  
發行

## 御聖訓

女房も男も共に御信用あり、鳥の二つの羽そなはり、車の二つの輪かかれり、何事か成ぜざるべき。

『日女御前御返事』



### (解説)

我々が生活していく為には、一人だけでは絶対無理であり、必ず誰かの協力が必要となります。それは例え夫婦であっても同じでしょう。

でも違った環境で育った二人が、一つ屋根の下で暮らすわけですから、それは意見の食い違いが生じるのは当たり前です。

どちらも感情的になり、自分の考えを押し通してしまい、事を荒だててしまう場合があります。

つまり大切な事は、いかに相手の主張を冷静に受け止める事が出来るかです。

日蓮大聖人が教えられているのは、ただ単に夫婦が協力しあう事だけではなく、そこに法華経・お題目の信仰をもつての協力でなければならぬという事です。

夫も妻も共に法華経・お題目に帰依し、同じ信仰を保ち続けていかれたならば、鳥の二つの羽が具わりどこまでも飛び続ける事が出来る様に、また車の両輪がそろってどこまでも走り続ける事が出来る様に、良い夫婦になりますよと、励まされているのです。

# 「喜寿を祝う会」 & 「交流会」

## 開催のお知らせ

今年、教宣部員でめでたく喜寿（数え七十七歳）を迎えました皆さんの祝賀会を開催します。合わせまして部員相互の懇親を深めます交流会も開催したいと思います。

当日は、お寺側より住職上人はじめ各お上人様・総代・護持会役員の皆様を交えまして、楽しい一時を過ごしたいと思しますので部員の方はもちろん一般檀信徒の皆様もどしどしお申込み下さい。

記

日時：十一月十日（土）

午後六時より

会場：アップルパレス青森

本町5-1-5

会費：五千円【五日×切】

詳細は事務所まで！

今回の喜寿の方

「長沢みよ子」さん

「三好 公子」さん

# 『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』の祈祷を行っています。

『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・平成二十四年生れの女兒

◎五歳・平成二十六年生れの男児

◎三歳・平成二十八年生れの女兒

となりませんが、ご家庭の事情により「満年令」でも構いませんので、子供さんの幸せと発育を願いまして、日蓮宗のご祈祷をお受け下さい。

なお、子供さんには「鬼子母神木札」「千歳飴」「干支のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますのでどうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。



# 檀信徒研修会のお知らせ

十一月十七日（土）

## 聖典の読誦と唱題行

担当：・・住職上人

\*『聖典の読誦（二十五分）唱題行（三十五分）』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂（お通夜の場合変更）

持参品：聖典（お経本）・事務所にて、数珠

\*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さずお経とお題目唱え、頑張つて参加して下さい。お寺で、気持ちを込め、大きな声でお勤めをしましょう。

また、太鼓をたたいて、精神を統一してお題目を唱えてみて下さい。

\*自分の懺悔（反省）・罪障消滅・または家内安全・当病平癒などの祈り、先祖や仏様の供養の為に拝みましょう。

⑨イス席になります。

### 今年度最後の研修会です！

# ◎日蓮大聖人

## 聖語カレンダー 《限定販売》

日蓮宗新聞社発行で、縦58横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書かれ、更に宗門聖日（日蓮宗で重要な日）も出ております。

一部・・・五〇〇円

◎平成三十一年度「暦」  
一部・・・一五〇円

# ☆靈断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

靈断と『靈』の字がありますが、靈を呼び出してなどという事は決してありませんのでご安心下さい。なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【ご相談料は一件につき三千元です】  
必ずご予約をお願いします。  
☎776-5840

# 大黒祭

## 十二月二日(日) 昼十二時半より

大黒様は、大去垢・大古久とも書かれ、一年の垢(あか)を取り去り、古(いにしえ)よりこの先、久しく我々を守護するという神様です。どうか、平成三十一年を迎えるに当たり、家庭の幸福を願い、必ずお祀りしています大黒様を行水し、お清め致しましょう。



- \*法要後に空くじなしの福引きがありますので、ご家族・ご友人をお誘いの上お参り下さい。
- \*賞品は、大黒様(一升榼一体・五合榼一体)を始め沢山用意しております。
- \*なお、福引き券は、行水申込者・祈願申込者、一件に対して一枚お上げします。
- \*大黒様をお祀りしていない方もお参りして、大黒様をお当て下さい。

# 大黒様の行水のお申込み

- 一、三升榼以上・・・三千五百円
- 一、三升榼以下・・・三千元
- 一、二升榼以下・・・二千元
- 一、一升榼以下・・・千円
- 一、掛軸、額縁・・・千円

②皆様がご持ちになりました『大黒様』は、僧侶がご祈禱した後、香水(大荒行堂秘伝の水)で清められ更に福引き券が付ききます。

- \*祈願・・・千円【福引・お札付】
- \*特別祈願・・・二千元【福引・木札付】

# 新規大黒様のお申込み

\*新たに榼入りの大黒様をご希望の方は、事務所前に飾っています見本をご覧になりお申込み下さい。

- 一升榼(特上、手彫り)・・・五万円
  - 五合榼(特上、手彫り)・・・四万円
  - 一升榼(機械彫り)・・・三万円
- 《いづれも分割可能》

【開眼料・御幣代も含まれます】

# お花はどっち向き？

【問】お寺の御寶前や自宅の仏壇に供えるお花は、どうして供養する仏様の方に向けなくて、拝む人の方へ向けて飾るのですか。

【答】確かに仏様の為に供えたお花であれば、こちらへ向けるのは、おかしいと思われたかもしれません。仏様や神様に色々な物を供え回向する事を供養といいますが、中でもお花を供える事はとても重要な供養の一つであるといわれています。この花【華】<sup>はな</sup>供養には、散華<sup>さんげ</sup>・盛花<sup>もりばな</sup>・立華<sup>りっか</sup>の三種類があります。

「散華」とは、お釈迦様の御教えを聞き、感動した天女達が、その徳をたたえまして撒いたお花をいい、現在では大法要の時に、お題目や絵模様をあしらった色紙の華を撒いて用いています。

「盛花」は、お花を水盤などの器に盛って供養する事をいいます。

またお花を花瓶に押し立て、形を整え飾る「立華」は中国の唐の時代に始まり、我が国に伝えられました。

この「立華」にはお花の表を仏様に向ける『向上相』と、お花を八方に向ける『向中相』、そしてお花の背を仏様に向ける『向下相』とがあります。我が国では、平安時代の宇多天皇が『向下相』を用いる事を命じて以来、仏様に背を向けて供えるようになったといわれています。

つまり、本来はどちら向きでも構わないのでしようがやはりお花の背をこちら向きにしますと、長年の習慣からか、我々の心が何となく落ち着かず、気持ちがつつきりしません。

お花がこちらを向いてこそ、初めて心が落ち着き、また手を合わせたくなるのではないのでしょうか。お花を供えるという事は、ただ仏様を供養するという意味だけではなく、それを拝む人達の心をなごませ、また信仰心を養うという事を現わしているのです。ですから、仏様の方にお花の背を向け、我々の方に表を向けてお供えるのが、最良といえるのです。



### 『位牌壇』募集集中！

★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡りご供養されていきます。

★仏様の御命日に当たる時に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またお経も唱えさせて戴きます。

★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。

★最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めず仏壇を維持出来ない為、位牌壇に位牌を預かり、青森に帰省した時にお参りをするという方も増えてきています。

### 『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円（月二百円）

### 『ねぶた』安置さる

今年八月に、当山を題材にしました「蓮華寺の蛙合戦」のねぶたが、青森県立工業高校様より贈呈されました。

平成二十八年度の制作ですが、まだまだしっかりとしていまして、中に照明も設置されてきれいですので、中々見ごたえがあるねぶたとなっております。

今後、お寺では可能な限り、大切に維持していきたいと思えます。

今般、贈呈して戴いた青森工業高校様に感謝し、また作成に関与されました生徒さん達に心からお礼を申し上げます。

誠に有り難うございました。

### 『提灯』の募集！

当山で「お正月」「鬼子母神大祭」「御会式」に下げます『提灯』（トローラー）を募集しています。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ計一万円となります。

### 十一月の行事

一 日（木）盛運祈願会 午後一時より

- ・お守り【霊神符】の交換の日です。
- ・お守りは必ずお勤めに参拝してお経・お題目を唱え、感謝の心を込めて戴くようにして下さい。
- ・聖典（お経本）と数珠は必ずご持参下さい。



五 日（月）鬼子母神小祭 朝のお勤め中

十三日（火）日蓮大聖人の御命日 午後一時より

- ・お経 如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）
- 如来寿量品第十六（真読・漢字読み）
- ・檀信徒の皆様は日蓮大聖人様の御報恩を忘れずに参拝し、一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十七日（土）檀信徒研修会（唱題行）午後七時より

二十八日（水）甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

### ☆奉仕のお知らせ

三十日（金）『大黒祭』の準備

- ・教宣部男女・・・午前十時より
- 【幕、ノボリの掲揚、祭壇造り】
- ④どうか毎月の『盛運祈願会』『十三日のお勤め』『檀信徒研修会』また【喜寿を祝う会】に積極的に参加して下さい。

- ◎奉仕部長・山田兼補
- ◎伝道部長・小野正春
- ◎教宣部長・杉淵昌三

### 『十三日のお勤め』

に参拝しましょう

☆毎月十三日午後一時

- ④『十三日のお勤め』は、日蓮大聖人の大事な月ご命日の日です。
- 皆様も、日蓮大聖人への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目を唱えるようお願い致します。
- ◎『十三日のお勤め』のお経練習用に（カセットテープ・CD・お経本）を販売しています。

# 大黒祭

十二月二日（日）

昼十二時半より



## （大黒様の行水・祈願・福引あり）

※行水と祈願の申込みは十一月十三日から受付ます。

※法要終了後、空くじなしの福引がありますので、ご家族  
ご友人をお誘いの上、奮ってご参拝下さい。

※大黒様をお持ちでない方もご自由にお参り下さい。

※新たに柵入りの大黒様をお求めになりたい方は、お早目に  
事務所までお申込み下さい。